

いいもの成らせるさくらんぼ便り
Vol. 2 凍霜害対策特集号

1 生育が早まる可能性あり！枯死が多いため凍霜害対策は万全に！

注意

- 1か月予報では、3月下旬は平均気温が平年より高い見込み
- 小花の枯死が平年より多く発生

＜生育状況（園芸農業研究所 3月24日現在）＞

・現時点の雌しべ長は概ね平年並

「紅秀峰」1.57mm(平年1.57mm 前年1.40mm)、「やまがた紅王」1.54mm(平年1.93mm 前年1.80mm)
「佐藤錦」1.30mm(平年1.31mm 前年1.12mm)

＜小花の枯死の発生状況（県内28園地調査 2月下旬～3月中旬調査）＞

・園地間差が大きく、早期落葉した「紅秀峰」では枯死率50%以上の樹が2割程度発生

「佐藤錦」：平均 4.7%（早期落葉なし1.2%、早期落葉あり11.1%）
「紅秀峰」：平均 14.6%（早期落葉なし5.8%、早期落葉あり29.7%）

枯死の状況を確認！
(vol.1 参照)

【事前の準備】

- ◇ 剪定を急いで終わらせ、剪定枝を片付ける
- ◇ スプリンクラー、暖房機などの施設や機械は早めに準備・点検する
特に、摘芽した園地・樹では必ず以下の凍霜害対策を実施する
- ◇ 地表面を覆うもの（敷きワラ等）を取り除く

※ご活用ください→



【主な防霜対策】

散水氷結法



- ・マイクロスプリンクラー等で樹上から散水
- ・散水はスプリンクラーが凍結する前の2℃程度から開始
- ・翌朝、氷が融けるまで散水を続ける
(途中で散水を止めると被害を助長するので注意！)

防霜ファン



- ・気温が2℃以下になったら稼動
- ・-2℃以下になった場合は、効果が不十分であるため、燃焼法を併用

燃焼法



- ・「霜キラー」や「防霜ロック」は10aあたり20～30個設置
- ・気温が1℃を下回ったら点火
- ・気温が最も低い日の出直前まで火力を低下させない

「低温アラート」システムを積極的に活用しよう！ 3月21日～運用開始

- ・県内の樹園地等に約50台の小型気象観測装置を設置
- ・観測地点ごとに
 - ① 現在の気温を確認できる
 - ② 設定した気温を下回ると通知が届く
- ・利用は「やまがたアグリネット」から
(会員限定、会員登録・会費は無料)



↑会員登録は
こちらから



↑アラート設定は
こちらから

2 霜害にあいやすい条件

- ・霜害の常襲地、摘芽した園地
- ・早期落葉、小花の枯死がみられる園地

特に対策をしっかりと！

《 霜が降りやすい条件 》

- ・晴天で日中の気温が低い
- ・夜間に風がなく晴れている
- ・午後5時の気温が10℃以下、または午後10時頃の気温が5℃以下

天気予報 + 自分で確認

◎短果枝の外観と雌しべ長および霜害発生の目安



発芽期頃

芽の先端に緑が出始めた頃
(雌しべ長: 1.3 mm前後)



発芽 10 日後頃

花芽が膨らみ、はっきりと
緑が確認できる頃
(雌しべ長: 2 mm前後)



発芽 15 日後頃

さらに膨らみ、花芽の半分くらい
緑(赤)になった頃
(雌しべ長: 3 mm前後)

まだ被害が出にくい時期

この頃から
注意が必要

だんだん弱くなる



花芽が割れ始めた頃

(雌しべ長: 5 mm前後)



開花前～開花始期

(雌しべ長: 6～8 mm)



この時期が最も霜害に弱い！！

「やまがた紅王」「紅秀峰」は「佐藤錦」より生育の進みが早いので、対策は早めに！

村山総合支庁農業技術普及課
TEL 023-621-8270

西村山農業技術普及課
TEL 0237-86-8215

北村山農業技術普及課
TEL 0237-47-8630

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会(事務局: 農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課)